

プレスリリース

平成 24 年 10 月 1 日

各 位

国立大学法人お茶の水女子大学長
羽入 佐和子

「文部科学省 情報ひろば」における企画展について（お知らせ）

お茶の水女子大学では、女性が進出できる新しい研究分野の開拓事業の一環として生活者の視点を重視したユビキタスコンピューティング住宅に関する研究を行っています。ユビキタスコンピューティング実験住宅では、小型安価となった日用品としてのコンピュータを住環境に埋め込むことで、日常生活におけるコンピュータの新しい利用の可能性を拓く研究を目指しています。

このたびの「情報ひろば」における企画展示では、ユビキタスコンピューティングのアプリケーションを実証するために建設された実験住宅である Ocha House における複合的研究実験とその成果を紹介します。

Ocha House の模型（実物 30 分の 1 スケール）やユビキタス環境における研究実験として、生活者を支援する IT 利用によるヒューマン・コンピュータ・インタラクション（HCI）の分野（理学部情報学科・椎尾一郎教授、アカデミック・プロダクション・塚田浩二研究員）と福祉工学分野（生活科学部人間・環境科学科・太田裕治教授）での研究の取組等、Ocha House という一つの媒体を研究実験の場として活用した複数の研究実践の成果について分かりやすく紹介します。

記

企画展名：ユビキタス実験住宅 Ocha House における複合的研究実験とその成果

展示内容：1) 実物展示

1. Ocha House 模型（実物 30 分の 1 スケール）
 2. Ocha House 構造体部分模型（実物 3 分の 1 スケール）
 3. 床振動システム（センサ搭載の床）
 4. 靴型足圧計測デバイス（高齢者の転倒予防を目的とした靴）
 5. 鮮度が「見える」冷蔵庫（コミュニケーション支援機能付実験冷蔵庫）
 6. PotPet（人とコミュニケーションを図る植木鉢ロボット）
- 2) 実験デモビデオ上映（上記装置をハウスで実験している様子）
- 3) パネル展示
- Ocha House プロジェクト解説（住宅および各実験の概要）
- 4) 上記のほか、「SHOKUIKU プロジェクト成果報告：お茶大の食育への取組」、
「グローバル協力センターによる開発途上国支援活動報告 ～アフガニスタン女子教育支援を中心として～」の成果報告を展示とパネルにより紹介
します。

展示期間：平成 24 年 10 月 1 日（月）～12 月末（予定）

※開館は午前 10 時～午後 6 時

会 場：文部科学省ミュージアム「情報ひろば」

（東京都千代田区霞が関 3-2-2 旧文部省庁舎 3 階）

入 館 料：無料

【情報ひろばHP】：<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/index.htm>